

# 市議会だより

6月定例会

令和4（'22）年8月1日発行



川田谷ベアーズ  
(桶川市スポーツ少年団)

## 主な内容

- ◎6月定例会  
議案審議・意見書  
2～3ページ
- ◎採決結果ほか  
4ページ
- ◎一般質問（18人）  
5～13ページ
- ◎議会からのお知らせ  
編集後記ほか  
14ページ

## ◆ 6月定例会日程 ◆

- 6月 2日 開会、市長の行政報告、市長提出議案の上程及び説明、市長提出議案の質疑及び委員会付託
- 7日 総務常任委員会
- 8日 民生経済常任委員会
- 9日 建設文教常任委員会
- 10日 一般質問（山中・渡邊・保坂・岩崎・岡安）
- 13日 一般質問（糸井・仲又・坂本・浦田・北村）  
市長追加提出議案の上程及び説明
- 14日 一般質問（加藤・砂川・新島・岡野・相馬）
- 15日 一般質問（にいつま・星野・佐藤）
- 17日 市長提出議案の委員長報告・質疑・討論及び表決、市長提出議案の質疑・討論及び表決、市長追加提出議案の質疑・討論及び表決、市長追加提出議案の上程、説明及び表決、議員提出議案の上程・説明・質疑・討論及び表決、閉会

# 議案審議の条例等

令和4年第2回（6月）定例会は、6月2日から6月17日までの16日間開催されました。市長提出議案8件、議員提出議案1件の提案があり、審議されました。

## 条例等

各常任委員会に付託された条例等についての審査で、主な質疑は次のとおりです。

桶川市税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い、必要な改正をするものです。固定資産課税台帳の閲覧や、税に関する各種証明書の交付についての変更です。

**問** 法改正の背景について何う。

**答** 不動産登記法の改正により、登記事項証明書の記載事項が変わります。登記に記録されている者の住所が明らかになる

ことにより、人の生命または身体に危害を及ぼす恐れがある場合があります。

この場合、その者から申出があったときは、当該者の登記簿上の住所を記載せずに、その代わりとなる事項を登記事項証明書に記載します。

市の固定資産課税台帳の閲覧や、税に関する証明書の交付においても、登記と同じように、該当者の住所等が漏れないようにする必要があり、ことから、地方税法においても規定を新設したものです。

指定管理者の指定について

（桶川市地域福祉活動センター）

指定管理者制度とは、公の施設の管理運営を広く民間企業やNPO法人などを含む事業者に委ねることを可能にした地方自治法に基づく制度です。

これは、議会の議決を必要とします。

桶川市では、公の施設の目的や利用状況などを踏まえ、住民サービスの向上などが図れると総合的に判断した公の施設について、指定管理者制度の導入を行っています。



9月改修予定の地域福祉活動センター

桶川市地域福祉活動センターの指定管理者として、社会福祉法人桶川市社会福祉協議会を指定するものです。

**問** 公募による指定管理を採用した理由は。

**答** 地域福祉活動センターは、大規模改修を経て、公の施設として管理運営することとなりました。

複雑、複合化する福祉ニーズに応えるための地域福祉の拠点施設として、多様な福祉サービスを提供する役割があります。公募の理由は、地域福祉の拠点施設としての機能と事業について、より多くを比較したかったことと、また、潜在的な福祉サービスの取り組みを顕在化し、比較することで、より福祉サービスの充実に期待したものです。

能と事業について、より多くを比較したかったことと、また、潜在的な福祉サービスの取り組みを顕在化し、比較することで、より福祉サービスの充実に期待したものです。

**答** 指定管理者の事務室と社会福祉協議会の事務室は、壁で仕切られており、それぞれの立場で事業を行っています。本来の目的に応じたすみ分けはしながら、相乗効果を図りながら効果的な事業展開がされたいと期待しています。

**問** 市で管理した場合との相違点は。

**答** 市が管理した場合は、運営主体が変わることがないため、ノウハウの蓄積とか、事業の継続性が担保される一方で、事業のマンネリ化やスピード感がないといった相違点があります。

**問** 指定管理にデメリットはないのか。

**答** 運営主体が変わることもあり、事業の継続性が担保されない懸念があります。

**問** 指定管理の導入について、検討段階で反対意見はあったか。

**答** 反対意見はありませんでした。

**問** 社会福祉協議会の指定管理者としての役割と、社会福祉協議会の業務のすみ分けは

できているのか。

改修により、新たに設ける施設機能を活用した活動場所の提供、民間事業者ならではのネットワークを活用して、今まで福祉に触れることがなかった方に対して、福祉に触れるきっかけづくりを行い、市民にとって地域福祉がより身近になることを期待しています。

※反対討論がありました。すでに社会福祉協議会の占有部分があり、住みわけや評価が難しい。利用料を取ること、市民

能と事業について、より多くを比較したかったことと、また、潜在的な福祉サービスの取り組みを顕在化し、比較することで、より福祉サービスの充実に期待したものです。

指定管理の導入について、検討段階で反対意見はあったか。

反対意見はありませんでした。

社会福祉協議会の指定管理者としての役割と、社会福祉協議会の業務のすみ分けは

の負担になる。情報公開制度を持たない組織は信用できない。市が直接運営すべき、との意見です。

桶川市移動等円滑化のために必要な市道の構造に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

「移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める省令」の一部改正に伴い、必要な改正をするものです。

自転車歩行者専用道路・歩行者専用道路の基準が定められ、立体横断施設に設置するエレベーターの構造要件が変わります。

今回の条例改正のもととなる、省令の一部改正の背景を伺う。

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、いわゆるバリアフリー法が改正され、令和3年4月に施行されました。これに伴い、必要な道路の

構造を定める省令の一部改正が行われたものです。

自転車歩行者専用道路や歩行者専用道路は、市内にあるのか伺う。

市内にはありません。

自転車歩行者専用道路と歩行者専用道路は、今後指定する予定があるか伺う。

予定はありません。

建物に設置されたエレベーターは、今回の対象になっているのか伺う。

本条例は市道に關するもので、駅西口エレベーターは、本条例の対象ですが、駅東口エレベーターは駅自由通路等と一体の建物であることから対象外です。

これから新しく造る際には、改正法の適用は当然だが、既存のものに対しては、法律ではどう方向性を示しているのか伺う。

新設及び改築の際には、本条例の基準に則り、整備等を行うべくすることになります。既存の部分に対しても、対策を講じていく必要があると考えています。

人事関係

### 人事関係

固定資産評価審査委員会委員を同意

(第46号議案)

高橋 和夫 氏

固定資産評価員を同意

(第47号議案)

山本 正義 氏

### 議員提出議案

「物価高騰に対する総合的な対策を求める意見書」の提案がありました。賛成少数で否決となりました。

内容は次のとおりです。

- 1 コロナ危機によって景気の低迷、生活の困難が長期に及んでいるところに、ガソリン、食料品、電気料金をはじめ高騰がおそいかかり、国民の暮らしと営業は深刻な打撃を受けている。
- 2 原油価格対策として、
- 3 小麦の政府売り渡し価格を引き下げること。
- 4 急激な物価高騰に対応して生活保護基準を引き上げること。
- 5 住民税非課税世帯に限定せず、困窮者に対する給付金を拡大すること。
- 6 年金減額を中止すること。
- 7 最低賃金を時給150円に引き上げること。
- 8 大企業への内部留保税を新設し、税収増、不公平是正を図ること。
- 9 過剰米の国による全量買い上げを実施すること。
- 10 再生可能エネルギーによるエネルギー自給率向上をはかること。
- 11 円高を誘導し、輸入物価を引き上げる「異次元の金融緩和」からの抜本的転換をはかること。

### 補正予算

〔一般会計第2回〕

国・県等の制度改正のあったものや、事業の進捗により必要なものを提案されました。主な質疑は次のとおりです。

《子宮頸がん 予防接種事業》

3,022万1,000円

積極的な勧奨を控えていた時期に、対象であった方に対し、改めて勧奨を行うとともに、予防接種に必要な経費を計上するものです。

今までの副作用のデータ等はあるか。安全性は担保されているのか。

厚生労働省の調査によると、子宮頸がんワクチンの販売開始から、平成26年11月までの接種者338万人のうち、副反応の疑いの報告があった者が2,584人で、0.08%となっています。

安全性については、国の方針に基づき、ワクチン接種の効果と、リスク



# 議案審議／採決結果

について、窓口に来られた市民の方に説明していただきます。接種の勧奨再開に当たり、保護者に向けた通知でも、国のリーフレット等を一緒に配布して、周知をしています。

## 《風疹予防接種事業》

120万6,000円

予防接種期間が令和6年度まで延長されたことに伴い、風疹の抗体保有率が低い世代に対し、再度クーポン券を発行するための事務経費を計上するものです。

### 問

対象者は。

### 答

昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性で、抗体検査の未受信者です。本市では、約7,400人が対象です。

## 【一般会計第3回】

国の原油価格・物価高騰に対する総合緊急対策に伴うものです。

- ①住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金（一世帯当たり10万円）
- ②低所得の子育て世帯に

対する子育て世帯生活支援特別給付金（児童一人当たり5万円）

- ③子育て世帯支援給付金（中学生以下の児童を養育する世帯に対し、児童一人当たり3万円）
- ④小中学校感染予防品費（事業費1,100万円）

主な質疑は次のとおりです。

### 《子育て世帯

支援給付金》

2億8,394万9,000円

### 問

国の地方創生臨時交付金2.2億円を

### 答

財源としているが、市の一般財源も6,000万円使っている。国の交付金の範囲内で給付はできないのか。様々な事業を検討した中で、コロナ禍において原油価格・物価高騰の影響を受けている子育て世帯を支援するため、全員一律に3万円支給することにしました。そのためには、6,000万円不足し、国の交付金と市の一般財源を使いました。

## 6月定例会で審議された議案とその結果

### ◆市長提出議案

○は賛成 ×は反対 -は棄権 ※議長は採決に加わりません

議案番号	議案名	議決結果	新政会			新風クラブ21			公明党		日本共産党	政和会		ともに生きる会	無党派			
			砂川和也	岡野千枝子	岡安政彦	相馬正人	糸井政樹	にいつま	新島光明	江森誠一	佐藤洋	岩崎隆志	保坂輝雄	仲又清美	坂本敏治	星野充生	加藤ただし	山中敏正
第40号	令和4年度桶川市一般会計補正予算（第2回）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	
第41号	専決処分の承認を求めることについて（桶川市税条例及び桶川市都市計画税条例の一部を改正する条例）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第42号	桶川市税条例等の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第43号	桶川市移動等円滑化のために必要な市道の構造に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第44号	指定管理者の指定について（桶川市地域福祉活動センター）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	
第45号	令和4年度桶川市一般会計補正予算（第3回）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第46号	固定資産評価審査委員会委員の選任について（高橋 和夫 氏）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第47号	固定資産評価員の選任について（山本 正義 氏）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

### ◆議員提出議案

議第1号	物価高騰に対する総合的な対策を求める意見書	否	×	×	×	×	×	×	○	議長	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×
------	-----------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

# 一般質問

## まちなかウォーカーカブルについて



山中 敏正

政和会



**問** ウォーカーカブル推進の目的と背景について伺う。

**答** 改正都市再生特別措置法で、防災面での安全なまちづくりと併せて、まちなかのぎわいを創出し、地域の魅力向上を図ることを目的としたものです。

**問** 滞在快適性等向の上の「ウォーカーカブル区域」について伺う。

**答** まちなかで、居心地がよく歩きたくなる空間づくりを促進するための区域で、一口程度以内の区域を対象に、官民一体となってオープンスペース等の交流滞空間を創出する取組を促進する区域です。

**問** 「ウォーカーカブル区域」を設定する考えについて伺う。

**答** 旧南小跡地活用の進捗に合わせて、にぎわいを創出する手段の一つとして、滞在快適性等向上区域の設定について検討していきます。

**問** 歩行者利便増進道路指定制度「ほこみち」について伺う。

**答** にぎわいのある道路空間を構築する為の道路指定制度です。「ほこみち」に指定すると、道路の占用許可基準が緩和され、カフェやベンチなどの占用物を置くことが可能となります。

**問** 指定した時に、店舗・企業・自治体にとつてのメリットについて伺う。

**答** 店舗・企業にとつては、道路占用が柔軟に認められること、公募占用により最大

20年の占用が認められ、投資しやすくなり、売上げ増が見込めることなどです。自治体にとつては、まちに賑わいができ、税収増が見込めることです。また、まちなかウォーカーカブル区域の指定と併用することで、歩道等の整備に、国から「まちなかウォーカーカブル推進事業」、国費率50%の支援を受けることが可能となります。

また、まちなかウォーカーカブル区域の指定と併用することで、歩道等の整備に、国から「まちなかウォーカーカブル推進事業」、国費率50%の支援を受けることが可能となります。

また、まちなかウォーカーカブル区域の指定と併用することで、歩道等の整備に、国から「まちなかウォーカーカブル推進事業」、国費率50%の支援を受けることが可能となります。

また、まちなかウォーカーカブル区域の指定と併用することで、歩道等の整備に、国から「まちなかウォーカーカブル推進事業」、国費率50%の支援を受けることが可能となります。

## 駅東口のまちづくりについて

**問** 旧南小跡地の将来像について伺う。

**答** 中心市街地のさらなる利便性の向上と、にぎわいづくりにつながる活用を図れるような将来像を、現在検討しているところです。

**問** 官民連携の考え方について伺う。

**答** 周辺市有地の公

体的な土地利用を検討し、官民連携による整備を中心に、考えていきます。

また、まちなかウォーカーカブル区域の指定と併用することで、歩道等の整備に、国から「まちなかウォーカーカブル推進事業」、国費率50%の支援を受けることが可能となります。

## 下日出谷東グリーンガーデンについて



渡邊 光子

無会派



**問** 遊具がある高台に上ると、南側には白いフェンスがしっかりとある。しかし、北側には2段になったロープがフェンス代わりにあり、幼児用の遊具もある。2段に張ったロープの間は広く、幼児の体が軽く擦り抜け、坂下へ落ちる心配がある。重ねて、このロープは、上から押すと軽く沈み、寄りかかった子供の体を坂下へ落とす心配がある。南側と同じ、安全な白いフェンスへの改修が無理ならば、同じロープ使用で、各2本ずつロープを通して、ロープの間隔を狭くする改修を伺う。

したワークショップを開催し、ご提案を参考に整備しました。令和4年1月に市が移管を受けた公園です。間隔が広い部分のご指摘かと思えます。トラロープの設置も含めて組合とも協議し、最善策を検討させていただきます。

**問** 北側の坂下部分の芝の改修は、伸びた雑草の上に、板状の芝を無造作に置き、芝もゆがんでいる。早急な改修を伺う。

工事完成後間もないところで、地形が斜面であることが影響し、芝生の根つきが悪く、ずり落ちたと考えています。現在、斜面の改修方法を検討しています。

北側の坂には、上から下へ綱を

伝って登り降りして遊ぶロープが2本ある。足元が土のため、月日が経過すると穴が出来る。すでに土から出た石ころが下部に落ちている。北里病院西側の北本市児童公園に同じものがある。改修の参考にしたら如何か。

現在、改修方法を検討しています。管理者はどこか。この一般質問を受け、草刈りしたのでしょ。ご苦勞様です。しかし、しっかりと根付き大きくなった雑草の上部のみ刈り、根は残り、大きくなった雑草が芝をダメにする恐れがある。雑草の除去を伺う。

地元自治会と管理委託を締結し、令和4年4月1日から管理依頼してあります。比較的面積も広く、管理段取り等の、手探り状況が伺われます。地元自治会と協議をさせていただきます。適切な管理について改めてお話をすすめます。

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

## 保育所および放課後児童クラブの待機児童解消について



保坂 輝雄

公明党



**問** 今年度の保育所の定員数、申込数待機児童数を伺う。

**答** 定員1,299人、申込数1,092人で、潜在的待機児童は62人です。

**問** 放課後児童クラブの定員数、申込数、待機児童数を伺う。

**答** 定員836人、申込数834人で、潜在的待機児童は45人です。

**問** 保育所、放課後児童クラブともに申込数が定員数を下回っているものの、待機児童が発生している。

**答** 今後、調整により潜在的待機児童を極小化できないかどうか、伺う。

**答** 民間施設等を案内することにより、入所数を増やし、潜在的待機児童数の減少を目指します。

**問** 公営放課後児童クラブで、学校の余裕教室を利用しているところを伺う。

**答** 教室を活用しているクラブは、加納小、川田谷小、桶川小、朝日小の4つです。

**問** 現在、深刻な状況にあるのは西小と東小の2つである。

**答** そこで、西小と東小の放課後児童クラブで、教室の活用ができないか、教育委員会の見解を伺う。

**問** 余裕教室がないため、今後学級数の減少に伴い、教室の活用を検討いたします。

**答** 余裕教室がないため、今後学級数の減少に伴い、教室の活用を検討いたします。

**問** 気象庁との連携による地域防災力の強化について

**答** 気象防災アドバイザーについて、

説明願いたい。

**答** 気象庁の取組の一つであり、国交大臣から委嘱を受けた気象台の退職者等の専門家のことで、現在県内で4名が委嘱されています。

**問** 気象防災ワークショップについて

**答** 同様に気象庁の取組であり、災害対応を検討するワークショップ形式による疑似体験を行うもので、本市は2020年度に参加しました。

**問** 気象防災アドバイザーも気象防災ワークショップも一般的に気象庁主催である。

**答** そこで、両者をワンセットにして市独自で導入できないか、伺う。

**問** 気象庁との連携による地域防災力の強化に関する市長の率直な考えを伺う。

**答** 今後、気象台を含めて、関係部局と検討をしていきます。

## 「ゼロカーボンシティ」の実現について



岩崎 隆志

公明党



**問** 再生可能エネルギーの導入拡大について伺う。

**答** 市民を対象とした、住宅用新・省エネルギー設置費補助金制度により、住宅用として太陽光発電システムや家庭用蓄電池に対し、その設置費の一部を補助しています。また、公共施設のリニューアルの際に、太陽光発電システムを取り入れ、再生可能エネルギーの活用をしています。

**問** 「転職なき移住・定住」を実現するためのテレワークの拡大や、サテライトオフィスの整備等に対する補助金などの拡充や税制の優遇について伺う。

**答** コロナ禍は都心に集中する経済活動に対し、価値観も含め、人々の生活スタイルを大きく変えるきっかけとなりました。国の制度は、テレワーク勤務を導入する事業主に対し、機器等の導入経費を助成する人

**問** 例え、コンビニでレジ袋や箸、スプーン等をもたらわない、消費期限間近の商品を購入した場合などに、既存のポイントに上乘せしてグリーンライフポイント

**答** 市民を対象とした、住宅用新・省エネルギー設置費補助金制度により、住宅用として太陽光発電システムや家庭用蓄電池に対し、その設置費の一部を補助しています。また、公共施設のリニューアルの際に、太陽光発電システムを取り入れ、再生可能エネルギーの活用をしています。

**問** 「転職なき移住・定住」を実現するためのテレワークの拡大や、サテライトオフィスの整備等に対する補助金などの拡充や税制の優遇について伺う。

**答** コロナ禍は都心に集中する経済活動に対し、価値観も含め、人々の生活スタイルを大きく変えるきっかけとなりました。国の制度は、テレワーク勤務を導入する事業主に対し、機器等の導入経費を助成する人

材確保等支援助成金や、地方に本社機能を移転する際に生じる設備投資や新規雇用者に対する税制を優遇する地方拠点強化税制などがあります。

**問** オンライン診療の現状について

**答** は、患者と医師がスマホなどによりコミュニケーションを取り、患者の問診や診察を行うものです。市内の医療機関に問い合わせたところ、オンライン診療を行っている医療機関は、確認することができませんでしたが、桶川北本伊奈地区医師会では、今後オンライン診療についての研修会等の開催を検討しているとのことでした。



一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

# 一般質問

## 学校のタブレットの活用について



岡安 政彦

新政会



**問** 学習効果が高められる機能について伺う。

**答** 機能として、大きく三つ申し上げます。一つ目は、一人一人が授業のテーマに応じて、文章や画像、動画をすくりに検索、収集する機能があります。

二つ目は、児童生徒の考えたレポート、作文、作品、意見などをその場で共有する機能があります。三つ目は、競技や演奏等を録画し、児童生徒一人一人が振り返りを行うことができる機能があります。

**問** 生徒指導に役立つ機能について伺う。

**答** タブレットの調

また、不登校の児童生徒に対して、オンライン授業を行っているところ

です。今後においても、状況の変化を注視しつつ、実施していきたいと考えています。

**問** 不登校の児童生徒に対してのオンライン授業に関して、出欠等の取り扱いについて伺う。

**答** 国や県の通知に基づき、学校が家庭での児童生徒のオンライン学習が適切であると確認できた場合には、出席としています。

**問** 教職員の研修について伺う。

**答** 教職員の学習、それから指導力向上については、様々な機会を捉えて、多くの研修を行う必要があると考えております。そのため、技能向上を目指して、習熟度別の研修、ICT支援員にサポート力の向上の研修などを、実施してきました。

**問** 今後のライブ配信の考えについて伺う。

**答** ライブ配信については、令和3年2月19日付の文部科学省の通知を受け、教育委員会として学校に、非常時にやむを得ず学校に登校できない児童生徒に対して、オンライン授業を実施出来るよう指導しております。

## 学校施設の整備について



糸井 政樹

新政会



**問** 先日、桶川市野球場連盟の会長として加納小での少年野球大会開会式に行った際、体育館に隣接したトイレを借りた。

大便秘は和式が一つのみ、小便秘も少なく、生徒が列をなしていた。今は、和式便器の使い方が分からない子や、知っていても用を足せない子もいるようだ。起きて欲しいはないが、もしもの災害発生時に加納小地区の皆さんの避難所となる加納小体育館トイレの今後の改修について伺う。

**答** 未改修である加納小及び日出谷小の体育館トイレの改修に関しては、避難所機能強化の観点からも、令和5年度に加納小、令和6年度に日出谷小の空調設備

**問** この2校の改修により、市内全ての学校体育館トイレの改修が完了することになるのか。

**答** 加納小、日出谷小以外の体育館トイレ改修については、完了しています。

**問** 桶川市消防団について

消防団は、市町村の非常備消防機関であり、消防団員は、非常勤特別職の地方公務員として、自らの地域は自ら守るといった精神に基づき、消防・防災活動を行っている。

団員報酬の個人支給へ

の変更や、自治会からの協力金を断ることなどは、時代の流れかも知れない。平成は災害と共にあった時代だと言われている。平成3年6月3日には、雲仙普賢岳大火砕流により12名の消防団員が命を落とし、東日本大震災では、256名の消防団員が亡くなっている。

その中で、消防団は金のためにやっていない。火災があれば飛んで行くし、大災害があれば命を懸けて市民の皆さんを守る気持ちでいる。

**答** 消防庁からの最終報告書でも、消防団の存在意義は不変であり、引き続き地域防災力の中枢として消防団は継承されていくべきだろうと報告がされました。市は消防団事務局として必要な人的・物的なサポートを最大限行っています。

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

## 「地方創生臨時交付金」について



仲又 清美

公明党



**問**

政府が発表した「地方創生臨時交付金」について、本市の方向性は。

**答**

今回の「地方創生臨時交付金」は、国の総合緊急対策において、原油価格・物価高騰対応分として新たに創設されたもので、本市には、2億2,300万円、交付される予定です。国の考えに基づき、学校給食費の負担軽減、低所得者の子育て世帯へ特別給付金の上乗せ支給、水道料金の負担軽減等、検討しましたが、結果、給食費負担や水道料金負担など、包括的に支援できず、かつスピード感を持って実施できるような、「市内の中学生以下の子ども全員に、1人3万円の支援給付金を実施する」方向としま

**問**

事業者へ使われ、経済が循環していくと考えます。「小さな声に耳を傾ける」支援について

「ヤングケアラ

」支援について、白岡市は、国、県の条例制定を受け、夏休み以降、児童生徒850人に対し、タブレットで実態調査する。入間市は、「ヤングケアラー条例案」が議会で成立した際、7月から施行する。本市の方向性は。

**問**

物価高騰の影響を危惧し、公明党小野市長へ「学校給食費の値上げ等による保護者負担が増えないよう検討する事」等、緊急要望書を提出した。本市は、給食費だけではなく、子育て世帯へ、1人につき3万円の支援給付金を7月に支給することを、今議会に提出するとして、ヤフーニュースにもなり、心から感謝するが、経済効果はどうか。

**答**

夏休み前に給付することや、コロナ禍で子供たちが楽しめなかったことなどから、

**問**

「男性トイレのサニタリーボックス設置」の方向性は。

**答**

尿漏れパッドを捨てる場所に困るとの声から、公共施設等に設置する方向で進めます。「帯状疱疹ワクチン助成」について、市外の医療機関も対象としてほしい。

**問**

「ヤングケアラー」支援について、白岡市は、国、県の条例制定を受け、夏休み以降、児童生徒850人に対し、タブレットで実態調査する。入間市は、「ヤングケアラー条例案」が議会で成立した際、7月から施行する。本市の方向性は。

## 農業の振興施策について Ⅱ第五次総合振興計画での取り組みと今後Ⅱ



坂本 敏治

日本共産党



**問**

認定農業者数の10年間の推移を伺う。

**答**

計画策定時の平成26年度が49人、令和4年現在42人と減少傾向です。

**問**

認定農業者を増やそうとしたが、減ってしまった主たる要因について伺う。

**答**

認定農業者の疾病、死亡、高齢などで営農継続が難しくなり、認定農業者が減少する中で、新たに認定を受ける農業者が増えていないことが減少の要因です。

**問**

計画で掲げた目標達成に向けた取り組みを伺う。

**答**

認定農業者を増やすため、市から各農業者への働きかけや

**問**

機能の規模や内容の検討も進めています。市民の意見の反映がどのようにされるか伺う。

**答**

広く地域の皆様への意見を伺うため、アンケート調査などを実施します。調査は、現段階で令和5年度中の実施を見込んでいます。

## 西側大通り線（市道20号線）の交通対策について

**問**

市道1号線との交差点に右折信号が必要ではないか伺う。

**答**

市としても右折信号の必要性を認識しており、上尾警察へ要通じて、埼玉県警察へ要望しています。早期に設置できるように要望を続けていきます。

**問**

交差点名の表示をする考えを伺う。

**答**

市としても「地点名標識」の設置の必要性は認識しており、設置を検討しています。



一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

# 一般質問

## マイン連絡橋へ 速やかな手すり設置を！



浦田 充

ともに生きる会



**問**

来年度設置へ予算要求できるか。

**答**

今後デッキの修繕と併せて実施する予定です。デッキの修繕時期は、今年度策定の橋梁長寿命化修繕計画に基づいて決まります。

**問**

要望書を提出し、期待していたが、もう少し早くできないか。

**答**

効率性などを勘案し、長寿命化修繕に併せて実施します。

**問**

早期からの就学相談実施を求める！

発達に遅れのある子や障害のある子への就学相談はどこでいつから実施しているか。

**答**

次年度小学校入学予定の子について、春に児童発達支援セ

選挙の動向を注視します。移動式投票所を設置できないか。

**答**

移動式投票所を設置した場合は、

**問**

記号式投票導入への見解を伺う。

**答**

期日前投票は、自書式のみです

**問**

投票機会の不平等解消へ一層の努力を

**答**

期日前投票所拡充に向けた取組は、様々な課題がありますので、当面

**問**

は2か所で実施します。坂田、加納地区では期日前投票率が、拡充の必要はないか。

**答**

要因は様々あることから、今後の

## 市内医療トラブルの相談窓口を



北村あやこ

ともに生きる会



**問**

誰一人取り残さない、という市長の姿勢では、医療問題の相談はどうなっているか。

**答**

医療行為で、後遺症が残ったなどの相談は、埼玉医療問題弁護団を案内しています。

**問**

裁判や損害賠償などではなく、市内の医療機関で起きたトラブルに対し、問題解決に向けた相談体制を作れないか。

**答**

市民に寄り添った相談をとのことですので、他市の取組等を研究していきます。

**問**

市民ホール使用障がい者に減免を

**答**

障がい者の減免はなぜないのか。市民の芸術文化

飛行学校新たな矛盾と  
ずさんさ

**問**

丸材を角材に変えたり、輸入材の導入などを、文化財保護審議会に諮ったのか。

**答**

審議した経緯はありません。

**問**

こんな重要な変更を保護審にかけず、信じられない。

**答**

兵舎棟の工事写真では、角材と丸材を使っている。前議会で、「安全性を考えると、角材に変更した」と説明したと矛盾する。

**問**

数量比較表では、丸材はゼロだが、設計図は兵舎棟だけで、130本購入とある。角材との差額は67万930円。設計変更も減額もしていないのは、水増しとしか、考えられない。

**答**

出荷証明、納品書、数量調査、設計書を照合したら、35項目も違っている。ものづくり大学に再度お願いし、できるだけ早い解決に向けて努力します。

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

## 歯を守る重要性について



加藤 ただし

政和会



**問** 歯科健診について伺う。

**答** 1歳6か月児健診、3歳3か月児健診、小中学校では、学校医が年に1度行なっています。成人は、妊婦歯科健診、2歳と6歳も実施し、無料で歯科健診を受けられます。埼玉県後期高齢者広域連合では、75歳・80歳の後期高齢者に対し、無料で歯科健診を実施しています。

**問** 歯と健康の関係について伺う。

**答** 歯科健診を受けて、虫歯や歯周病を早めに治療することが必要と考えています。また、歯周病の予防には定期的な歯科健診が必要です。歯を守ることは、健康長寿を実現し、健康で豊かな人生を送るための

**問** 第一歩であると考えます。歯を守ることは健康維持につながり、歯周病予防は定期的な歯科健診が必要で、市が行う健診がそのきっかけになる、との答弁だった。市民の健康と医療費の削減から、早急に取り組むべきものと考え、セカンド成人式に合わせて40歳の歯科健診を行うって頂きたい。

**答** 歯の健康の保持増進を図るため、40歳の歯科健診につきましては、歯科医師会に相談して検討します。

## 教育の取組について

**問** デジタル教育において、教えるの

は、デジタルで行えば、予習も復習もタブレットを使い、自宅でできる。対面学習は教えることを超え、理解度の確認や質問対応、メンタルケアと考えるが、如何か。

**答** 一人ひとりの様子も理解できる対面学習も大切と考えます。

**問** グローバル教育において、TOEICは世界150か国以上で実施されている。この検定を受ける機会を与えるため、受検料の補助を提案する。伊奈町では、英語検定の検定料を負担している。

**答** 伊奈町等から効果の検証や現場の声を聞き情報収集します。

**問** デジタル化を活用し、子供同士が共に学び合う新たな学習環境を構築するいい機会である。共に育む、学び合う、桶川版の共育を構築して頂きたい、如何か。

**答** 桶川の教育環境学習環境を推進します。

## 桶川市が考えるゼロカーボンシティについて



砂川 和也

新政会



**問** 市が考える温室効果ガス排出量実質ゼロの状態を伺う。

**答** 温室効果ガス排出量実質ゼロの状態は、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を大幅に削減し、削減し切れない分は、森林などの二酸化炭素吸収源による吸収量でカバーし、排出量と吸収量を均衡させる状態です。

**問** 温室効果ガス排出量実質ゼロに向けた取組と目標を伺う。

**答** 本市は、個人レベルで脱炭素の行動を主体的に行うために、省エネやごみの減量化などに関するライフスタイルのリノベーションの取組を考えています。目標は、2050年までに温室効果ガス排出量を実質

**問** ゼロにすることです。市民が実施できる取組を伺う。

**答** 環境省が推奨するゼロカーボンアクション30です。広報6月号に、ゼロカーボンシティ実現に向け、身近にできることとして紹介しました。取組によっては、すぐに行えることから、ゼロカーボンアクション30の普及啓発を行っていきます。

## 歴史のみちプロジェクトについて

**問** 歴史のみち広域景観形成プロジェクトの取組を伺う。

**答** 県内には、旧中山道はもとより、

旧日光道中や旧秩父道など、多くの旧街道や旧宿場町があります。その旧街道などに埋もれた歴史的景観資源を発掘し、県と市町村だけではなく、地域の団体なども一体となり、景観まちづくりを推進します。

**問** 市の中山道整備を行う際、歴史的景観資源の取扱いを伺う。

**答** 中山道整備の際は、歴史的建築物や色彩の統一、建物や歩道を柔らに照らす街路灯の設置など、町並みと調和した整備を実施した他市の事例を参考に調整を図っていきます。

**問** 中山道整備と歴史的景観資源が調和したまちづくりが望ましいが、市の考えを伺う。

**答** 中山道整備と歴史的景観資源が調和したまちづくりが望ましいと考えます。事業実施の際は、道路管理者である県と連携し、中山道沿線住民のご意見を伺い整備を進める考えです。

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

# 一般質問

高齢病弱者等の通院手段として、デマンド交通システムの導入を提案！



新島 光明

新風クラブ21



## 問

病弱者、障害者、体力が衰えた高齢者にとって、通院の移動手段は切実だ。その為に自宅から直接行けるデマンド交通システムへの期待の声が多数寄せられている。だからこそ、多くの自治体でも始まっている。桶川市でのその後の検討状況を伺う。

視察した鴻巣市のデマンド交通は、タクシー補助形式で、対象者は70歳以上の方、要介護、要支援認定者、障害者、難病患者、未就学児、妊婦で、運行は8時半から17時迄で、自宅から目的地付近の共通乗降所との間です。通院が大半で、多くは70歳以上の高齢者です。

また、議員提案情報の

## 問

桶川北本伊奈地区医師会の見解で

胃内視鏡による胃がん検診の実施を提案！

も「胃内視鏡による胃がん

診は効果的で優れている」とのことだ。これを受け伊奈町は、4年前に胃内視鏡による胃がん検診を始めた。この動きを受け、私は2018年12月議会で、本市での導入を提案したが、

課題整理が必要とのことだった。そこで、伊奈町での実施状況及びあらためて本市での検討状況を伺う。

## 答

伊奈町では、4年前に4医療機関

で始まりました。桶川市内で胃内視鏡検診に協力可能な医療機関は7つですが、幾つの医療機関が実施可能であれば胃内視鏡検査が実施可能かは、お示しはできません。

伊奈町では50歳以上の方の隔年実施で、令和3年度は146名が受けられ、利用者負担は3,500円です。

家庭ごみの減量化について



岡野千枝子

新政会



## 問

可燃ごみ、種類別の推移を伺う。

## 答

ごみ質の分析調査結果は、紙、布

類が約59%、野菜くずなどの厨芥類が約14%、草木類が13%、ビニール、ゴム類が約10%、それ以外が4%です。

## 問

生ごみ処理機の補助件数の推移を伺う。

## 答

コンポストと電気式を合わせた補助件数は、年間20件を下

回るペースで推移していましたが、令和2年度35件、令和3年度は42件と増加傾向となっています。令和2年度以降の補助件数の増加は、近隣自治体でも同様の傾向があり、コロナの感染拡大に伴うライフスタイルの変化が大きな要因と捉えています。

可燃ごみの減量化やゼロカーボンシティにつながるのか検討します。

## 問

小学校の高学年、教科担任制について伺う。

小学校教育について

## 答

小学校の教科担任制は、中学校と同様に教科ごとに指導する、担当教員が異なる指導体制です。

## 問

プラスチックごみの状況とリサイクル方法を伺う。

## 答

プラスチック製の容器包装類が約70%、ペットボトルが約5%、それ以外が約25%です。

## 問

リサイクル方法は、選別をして、容器包装リサイクル法にのっとり、容器包装類は、コークス炉燃料の原材料となり、ペットボトルは、洋服などの繊維になります。

## 問

定枝のチップ化処理機に、コンポストと同様の助成は出来ないのか伺う。

## 答

各家庭で出る剪断で英文の内容を学んだり、見ることで児童同士のコミュニケーション活動に役立てています。会話をする映像資料の機能からは、正しい発声の仕方や発音の仕方を確認することが出来ます。

## 問

外国語、デジタル教科書の活用状況を伺う。

## 答

例文を読み上げる機能は、聞くことで英文の内容を学んだり、見ることで児童同士のコミュニケーション活動に役立てています。

可燃ごみの減量化やゼロカーボンシティにつながるのか検討します。

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

## 移動スーパーについて



相馬 正人

新国会



**問** 売り上げ状況と今後の見通しは。

**答** 各月ごとの1人当たりの平均売上額は、2月は940円、3月は1,143円、4月は1,214円、5月は1,224円で、4か月の平均は1,130円です。

売上総額については、32か所の合計売上額で、2月は50万6,811円、3月は155万7,200円、4月は131万3,622円、5月は120万4,558円でした。

**問** 今後の見通しについては、これまでに停車場所の一部変更がありました。大きなトラブルや事故もなく、今後も順調に運行されていくものと考えています。

**答** 集客人数の少ない停留所は、廃止になることがあるのか。運営会社とは、

包括連携協定の連携項目の一つである、買物困難者支援として移動スーパーを行っています。

この目的からも、集客者数が少ないからといって、必ずしも行かなくなるものではありません。もちろん、必要に応じて停車場所の見直しを図るものと考えておりますが、市全体でバランスが取れていれば、事業に支障がないと伺っています。

**問** 移動スーパーが始まって数か月だが、高齢化社会が進む中、今後も買物困難者が増える需要が高まってくると思う。

事業として続けていくには、売上げも重要だと思っているが、安定的な売上げにつなげるために、どのように考えるか。

買物困難者支援として、移動スーパーの役割は、非常に大きいものと考えています。市としては、さらに地域の方々にご利用していただけるよう、周知等を行ってほしいと思っております。

**問** 移動スーパーの現実に対して、応援していた者の一人として、買物困難者支援以外の、移動スーパーが運行したことによる、よい効果があったら教えてほしい。

運行が開始された新たな地域コミュニティが構築されてきていると感じています。

ある集会所では、移動スーパーが来る前に、数人が集まり、楽しく井戸端会議が行われています。また、歩行が心配な方をご近所の方が気遣い、一緒に歩いて送迎をするなど、自然発生的に生まれている状況があります。

**問** 部活動の地域移行で、学校から部活が無くなるのか何う。

**答** 現時点で学校から部活動が無くなるものではないと推察しています。

## 部活動改革と地域移行について



にいつま 亮

新風クラブ21



**問** 部活動の地域移行で、学校から部活が無くなるのか何う。

**答** 現時点で学校から部活動が無くなるものではないと推察しています。

**問** 教職員が部活動に関わることで、もたらされたメリットについて、市の見解を何う。

**答** 生徒にとつては、生徒や学校教育への理解がある事です。また、教職員にとつては、授業中とは異なる姿を部活動で見せる生徒もおり、多面的に生徒を理解することになり、生徒指導でも大きな役割を果たすものと考えています。

**問** 教職員の兼職兼業は認められているのか何う。

**答** 教職員の兼職兼業は認められているのか何う。教職員の兼職兼業は認められているのか何う。

**問** 地域スポーツクラブに運営を委託する場合、求める資質は何か何う。

**答** 中学生という学齢期に応じた生徒理解や、指導するスポーツの知識、技能などの専門性、学校教育に関する十分な理解などが考えられます。

**問** 買物弱者支援を起点とした福祉課題の解決について

**答** 現状のターゲット層は、高齢者がメインになっているが、買物弱者の視点でいえば、妊産婦や乳幼児がいる家庭、借家住まいの一人暮らし、特に高齢の男性などもターゲット層と考えることができる。

**問** エレベーターのない中層の集合住宅に住む高齢者は、外出の頻度が少なくなる傾向がある。UR団地のような5階建ての階段だけの住宅での出店も、効果的と考えるが、見解を何う。

**答** 当初、高齢者を中心にした対策として、実施していましたが、広く福祉という点で市全体でどういった方向が取れるか、今後一層研究していきます。

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

# 一般質問

私道を含む道路整備について、前向きな検討を



星野 充生

日本共産党



**問**

市道に面して行き止まりになる私道上の水たまり、陥没のある場所の対応について、上尾市では、今年4月から私道寄附受納整備要綱により、私道の寄附を受け付けて、簡易舗装などの整備を可能とした。参考にできないか。

**答**

特定の方が通行する行き止まりの私道について、寄附を受け入れて、その道路の整備や維持管理を市が行うことは、公共性の観点から、望ましくないものと考えています。

**問**

現行の「コミニティ推進事業」は、改善の余地のあるものか、市の認識を問う。

**答**

要件上少なくとも必要な条件として運用させていただいて

**問**

北1丁目で側溝の蓋があるところ、ないと混在している。現状に対して市の対応は。今後、家の建て替えなどにより、道路後退が進み、路線として4メートルの幅員が確保された場合には、側溝の敷設替えも含め、道路整備を進めたいと考えています。

**答**

せめて側溝の規格を合わせるような働きかけができないものか。

**問**

昭和30年代の開発の際に入れた側溝で、なかなか難しい部分もありますので、今できることの中で、現地の確認をしながら、危険回避ができるような安全対策に努めます。

**答**

具体化されるのはいつ頃か。

**問**

デマンド交通について、福祉交通としての市のビジョンを示せ

**答**

公共交通会議において、導入の方向性や桶川市の公共交通のあり方について協議を進めるところで、お答えすることができません。

**問**

市がこうした、というビジョンが全然ない中、会議に出されても、果たしてどんな議論になるのか。市の福祉交通のあり方と、核となる部分をまずは作ってから、地域公共交通会議に諮ることはできないか。

**答**

近隣自治体で実施している事業などを調査し、意見を伺った上で、一定の方向性を作りたいと考えています。公共交通会議でしっかり議論をし、桶川市に一番合った形のデマンド交通を、早期に運行していきたいと思えます。

子供たちに関する新型コロナウイルス感染症について



佐藤 洋

新風クラブ21



**問**

今日は、新型コロナウイルス感染症に関する質問をする。コロナ禍の中で、桶川は7万5,000人の市民を守るために職員も、市民も、議会も一生懸命やってきました。これには、感謝したい。

**答**

①小中学校の児童生徒の感染者数、②今までの学校閉鎖クラス閉鎖数、③保育所幼稚園、放課後児童クラブの感染者数（公立・私立別）について伺う。

**答**

①小中学校の児童生徒の感染者数については、令和3年度4月から令和4年度5月までの累計で、小学校が339人、中学校が106人となっています。

②今までの学校閉鎖、クラス閉鎖数について

**問**

令和3年度4月から令和4年度5月までの期間で、学校閉鎖が1件、学年閉鎖が4件、学級閉鎖が48件となっています。

**答**

③保育所、幼稚園、放課後児童クラブの感染者数については、公立保育所で32人、私立保育所で85人、私立幼稚園で28人、公立放課後児童クラブで51人、民営放課後児童クラブで27人、全体で223人となっています。

**問**

新たなエネルギー機器について

新エネルギーや省エネルギー機器に対する補助事業の実績を伺う。

**答**

令和3年度は、全体で補助金が596万円、機器件数の合計が151件となっています。内訳は、太陽光発電システムが1件当たりの補助金額5万円、48件です。高効率給湯器のエコキュートが1件当たりの補助金額3万円、39件、エコウイールが1件当たりの補助金額4万円、2件、エネファームが1件当たりの補助金額5万円、3件です。

**答**

エネルギー節約管理システムのヘムスは、1件当たりの補助金額1万円、16件、太陽熱を利用して給湯するシステムは、1件当たりの補助金額3万円、2件、家庭用蓄電池は、1件当たりの補助金額5万円、41件です。



# 桶川市議会のインターネット中継について

市議会では、インターネットによる議会中継を行っています。

ライブ中継では、ご自宅のパソコンやスマートフォンから、議会での審議や常任委員会の様子がリアルタイムで、どこでもご覧いただけます。

また、本会議は開催日から1週間程度、各常任委員会は開始日から2週間程度で録画中継を行っています。

議会インターネット中継は、市ホームページから市議会の議会中継を検索いただくか、次の検索方法又はQRコードから検索してください。

桶川市議会スマート中継

検索



## 定例会のお知らせ

9月定例会は、8月30日（火曜日）9時30分開会で、会期日程は以下の予定で調整中です。  
（※都合により変更する場合があります。）

[会期日程(案)]

8月30日	開会日
9月2日	本会議
5日～9日	常任委員会
12日・13日	
14日～16日・20日	一般質問
26日	閉会日

## 6月議会本会議傍聴者数

月日	6/2	/10	/13	/14	/15	/17	合計
人	0	6	18	1	2	0	27

## 声の市議会だより、点字版市議会だよりのご利用を！

桶川市議会では、ボランティアの皆さんのご協力により「声の市議会だより」、「点字版市議会だより」（紅花の会）（点字レモンの会）を作成しています。  
利用を希望される方は、議会事務局までご連絡ください。

TEL 786-3211（代表）  
788-4963・4964（直通）

## 編集後記

議会だよりでは、賛否の結果を報告していますが、それだけではわからないことも多くあります。議会は民主主義の学校といわれ、少数意見が重要なこともあります。

時には、切磋琢磨の議論が交わされることも。ぜひとも、傍聴や議会の中継、録画など、議会のリアルな様子もご覧ください。

結果だけでなく、ヤジや議事進行、急きょ休憩になったり、経過や議員の姿勢をかい間見ることができ、政治が身近になると思います。

（北村）

## 議会だより編集委員会

委員長	岡野千枝子
副委員長	山中敏正
委員	坂本敏治
委員	北村あやこ
委員	仲又清美
委員	にいつま亮
委員	江森誠一